

## 産官連携により地域の日本語教室を支援します～外国人との共生を目指す愛知モデル～▶

当協会は今年度、愛知県経営者協会、一般社団法人中部経済連合会、愛知県と連携し、地元企業からボランティアを募り、地域の外国人児童・生徒を対象とした日本語教室を支援する活動を試行的に開始しました。日本語教室支援に興味を持っていただいた企業の方々に向け、西三河地域では2022年10月30日と11月5日に刈谷市で、尾張地域では2023年1月21日に名古屋市で、活動を始めるにあたっての研修と、参加者と教室とを繋げるマッチングイベントを開催しました。

西三河地域では企業4社から41人と4つの日本語教室、尾張地域では企業5社から44人と5つの教室と多くの方々にご参加いただきました。研修では、あいち地域日本語教育推進センター総括コーディネーターの千葉月香氏に、愛知県に住む外国人と外国人児童生徒の状況や地域の日本語教室の活動についてご講義いただきました。マッチングイベントでは、地域の日本語教室の代表の方に、教室の概要や活動の様子などをお話しいただいた後、小グループに分かれて、それぞれの教室の方に活動するうえで疑問に思うこと、気になっていることを参加者が直接質問する時間を設けました。皆さん熱心に講義に耳を傾け、意見を共有したり、教室の方々に活動に向けた具体的な質問をされたりする様子から、高い関心を持って参加していることが感じられました。

今回、研修・マッチングに参加したほとんどの方は、後日、教室を見学したり、活動体験をしていただき、なかには、継続して教室のボランティアとして活動していただいている方もいらっしゃいます。このような方の活動動機には、「外国の子どもの教育に興味を持っていた」、「自身の海外赴任での経験から外国の方に恩返しをしたいと考えていた」、などの他に、「教室ボランティアの方の活動に対する熱い想いに心打たれた」というものもありました。

実際に活動してみた参加者からは、「担当した子どもはまだ日本語レベルが低い子だったが、自分の教える言葉を一生懸命覚えようとしてくれる姿にとっても嬉しくなった」、「音読や漢字の書き取りの手伝いなどしかできないが、子どものために活動できるのは楽しい」、「仕事や家庭の都合で不定期の参加になってしまうが、教室ではあたたかく迎えてもらってありがたい」などの感想をいただいています。

また、教室の代表者の方からも、「見学に来られた方がほとんどそのまま教室のボランティアとして登録してもらえて、本当に助かっている」、「講師不足を解消できたので、これからも教室活動が続けられる」といった声をいただいています。

この研修・マッチングイベントを通して地元企業の多くの方に、日本語習得に困っている外国につながる子どもがいること、またこのような子どもを支援する日本語教室が地域にあることを知り、多文化共生について関心を寄せていただける機会になったと思います。今後も企業の方々と教室とを繋げ、様々なかたちでの日本語教室のサポート、ひいては外国につながる子どもの支援をしていきたいと考えています。



▲千葉氏による研修の様子



▲参加者の質問に答える日本語教室ボランティア



いりょう つうやく  
**あいち医療通訳システム**

アイミス

**AiMIS****病院で通訳などが利用できます。**

Interpretation services are available at participating hospitals

可在医院使用口译服务

Disponibilizamos o serviço de tradução nas entidades hospitalares

Tenemos disponible servicio de interpretación médica

Interpreter ay magagamit sa ospital

対応言語: English・中国語・Português・Español・Filipino

※その他の言語については、下のウェブページで確認してください。

あいち医療通訳システム推進協議会事務局

☎ 052-954-6138 平日/Weekdays 9:00~17:30

<http://www.aichi-iryou-tsu-yaku-system.com>